



主催 在札幌米国総領事館 後援 札幌市 札幌弁護士会
協力 札幌市男女共同参画センター

婚姻の自由

～米国における LGBT の権利と世界の動向～

米国連邦最高裁判所は昨年6月に、同性婚は合衆国憲法の下での権利であり、州は同性婚を認めなくてはならないとの判決を下し、これにより米国で同性婚が合法となりました。オバマ大統領は最高裁の判決について「米国の勝利だ」と歓迎しました。

この講演会では、Freedom to Marry 代表で、長年にわたり同性婚合法化にむけて活動を続け、タイム誌で「世界でもっとも影響力のある人物 100 人」にも選ばれたエヴァン・ウォルフソン氏をお招きします。米国での LGBT 権利擁護活動と同性婚合法化の背景や、今回の判決が家族関係をどのように強め、経済、世界の人権擁護に利益をもたらしたのかその影響についてお話いただきます。



またこの機会に、東京都渋谷区の同性パートナーシップ条例など、日本における LGBT をめぐる動きについても、札幌弁護士会の須田布美子弁護士より概略をご説明いただきます。

日時： 2016 年 2 月 23 日(火) 午後 6 時～午後 8 時 (開場午後 5 時半)

会場： 札幌市教育文化会館 305 会議室

(札幌市中央区北 1 条西 13 丁目) tel. 011-271-5821

*** 入場無料 定員 150 名**

*** 講演は英語 (日英逐次通訳つき)**

*** 申し込み不要 (当日、直接会場へお越しください)**

講師略歴： エヴァン・ウォルフソン (Evan Wolfson)

米国の全州の同性婚合法化にむけて設立された Freedom of Marry の創設者、代表。1983 年のハーバード大学法科大学院でゲイの権利、同性婚の自由について論文を執筆。1990 年代にはハワイの同性婚訴訟で、原告訴訟代理人の一人となり、アメリカ国内の同性婚運動へのさきがけとなる。LGBT の権利、HIV/AIDS に関連するさまざまな訴訟に関わるほか、コロンビア大学、ラトガーズ大学の非常勤の教授として教鞭をとった経験もある。米国の学術誌 National Law Journal では 2000 年に「米国でもっとも影響力のある弁護士 100 人」に、また Time では、「世界でもっとも影響力のある人物 100 人」に選ばれる。2012 年には、コロンビア大学バーナードカレッジより、オバマ大統領とともにバーナードメダル (Barnard Medal of Distinction) を受賞。

1978 年 エール大学 (歴史学専攻) 卒業、1983 年 ハーバード大学ロースクール 卒業。